

# 市 研 特別活動 速報

【高学年部会】

発行日 平成28年10月14日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り拓く子どもを育てる学級活動の在り方  
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるには～

活 動 名 「6年1組オリジナルにここ動画を作ろう」

## ○活動のねらい

「6年1組オリジナルにここ動画を作ろう」の活動を通して、自分たちで活動を企画、実践する楽しさを感じ、学級や仲間のよさに気づきながらよりよい学級をつくろうとする態度を育てる。

## ○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・班や自分のめあてを明確にして、活動に取り組むことができるように、活動カードを用意する。
- ・活動の中で友達のよさに気づき、認めるために、小グループで活動を行っていく中で、友達のよさはどこなのか、そのよさが動画を撮る中でどのように生かされているのか、他の班に伝える時間を設定する。
- ・学級に対する自分たちの思いの変化や成長を実感するために、活動前に感じている学級に対する思いが、活動後の振り返りではどのように変容したか可視化できるようにする。

## ○研究討議・講評から

- ・この活動から「自分たちの思いを実現できた」という達成感、楽しさは子どもたちがたくさん感じられていたと思う。
- ・教師が、子どもたちにやりたいことは何か投げかけて思いを吸い上げて始まった活動である。そこから、子どもたちが自己実現から達成感を感じることに繋がっていった。その過程が自尊感情を高めることに繋がっていくのだと思った。動画を誰に見せるか、この活動を通して学級をどうしていきたいのか、という見通しがあることで活動の質が高まっていく。
- ・小グループの活動だったが、学級のよさに気付いていくためには、学級全体で活動したり、全体で学級のよさを確認する場があったりした方がよかった。
- ・「みんなでつくった」「自分たちでやった」という思いをもてたことがとても大事である。
- ・この活動を通して、さらに今後よりよいものをつくっていかうと思えたらよい。子どもたちの中に「こんなことをやってもいいんだ」という思いがもてたことで次にステップアップしていく。
- ・「みんなで知恵を出し合うことで活動をつくり出す楽しさを感じてほしい」という意図が教師にあるなら、全員でつくり上げる活動が望ましい。